

「第2回 蘭越と尻別川を考える会」 議事要旨

● 各会員の意見

■治水

- ・これからは気候変動もあり、雨が今までと違って、極端に強く降る。
- ・本州では鉄砲水で尊い人命が失われている。ここもそう言うことがないとは言い切れない。開発局で行った水の流れを良くするしゅんせつなども大事なのでは。
- ・最近いわゆるゲリラ豪雨が頻発。今後の河川の整備に計画に反映され、被害のない計画にしてもらえれば。
- ・床上浸水を4回経験している。堤防できてからは被害がない。堤防のおかげだと思っている。
- ・水害を経験している。事業所の裏の堤防が崩れる写真を撮ったことがある。そう言う経験から、人命・財産のために改修をしてきたと思う。何のため改修するのか。人命・財産が先決。釣り人やラフティングは2番手か3番手で良いのではと思う。基本的には生命。堤防が整備され、本流の洪水はなくなった。
- ・川は、災害・憩いの場などいろいろな面がある。まず国民の生命を守ることが国の責務。
- ・山に木を植え、川を大事にするということにつけるのではないか。

■利水

- ・水力発電所も5つくらいある。町にとっても大きな財産。
- ・自然エネルギーを使って発電している。一般的に環境に優しいのでは。環境面では魚類に配慮し、H12までに4箇所魚道をつけた。また、濁水対策もさせていただいている。
- ・清流日本一。大谷揚水機から水をとっているが、日本一の水で米を作っている、宣伝したい。
- ・川をきれいにするための啓蒙活動をやっていききたいし、やっていただきたい。

■河川環境

- ・山・川など良い環境であり、蘭越町民がうらやましいと感じた。高校の理科で小学校と一緒に水質調査をしている。蘭越で育った子供が蘭越を支えていくということが大事。
- ・今年は小学校と交流学习をしている。若い世代が蘭越と尻別川を考えてもらえるようなれば。
- ・蘭越米は美味しいと評判。どうしてこの地域で美味しいお米がとれるか？伝えていくことが大事。
- ・自然の良さ、大切さを伝えることが必要。心がくつろげ、豊かになる蘭越町になれば。
- ・「蘭越と尻別川を考える会」は壮大な構想を持っているなど想っている。若い世代にも町の良さを知らせて行くことが大事。
- ・治水と河川環境は相反するものではなく、共存していけるものと考えている。イトウ・カラスガイと言った自然を守るのも大事と思う。尻別川を全国に誇れる方策を、これまでの枠をこえて考えていって欲しい。
- ・有識者は尻別川のイトウはもう絶滅宣言してもいい状況にあると言う。絶滅危惧種をつくらないうような良い知恵を出して、いい川をつくって欲しい。

■河川利用

- ・近年川の指導者養成講座で指導者をどんどん養成している。
- ・1人でも多く指導者をつくるのが、川の健全な利用につながるのでは。
- ・神戸の事故のようなことにならないよう、指導者は必要。